

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和4年5月30日 8人中8人回答

事業所名: デイサービスフラワー 尼崎

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	個室での療育や、児童に圧迫感を感じないように、間仕切りや仕切りをつくることでスペースを確保しています。	はい87.5%、どちらともいえない12.5%	現状を踏まえ、スペースに余裕を持たせながらの指導を行っていきます。
	2 職員の適切な配置	1対1での関りにて職員を配置しています。	はい100%	今後とも十分な職員配置を行い、より良いサービス提供を心がけます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	入り口はバリアフリーでスロープなどで車いすでも入れるような設備にしています。今後何か不備があればその都度対応していきます。	はい87.5%、どちらともいえない12.5%	今後も全てのご利用者様が快適に過ごせるためのバリアフリー化を進めていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃を実施しています。また、アルコール消毒を使用後に必ず行っています。	はい100% 清潔にされていると思います。	ご意見ありがとうございます。今後ご利用者様が快適に過ごせるような場所になるように取り組ませていただきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善への意見は随時意見を聞いたり、職員間で意見が出やすいよう配慮しています。PDCAのサイクルの流れを構築するよう努力します。		PDCAサイクルの流れを確立し、取り組み、評価を全体が共有し目標達成に向けて取り組むことができるように改善に努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は行われておりませんが、相談支援員や関係者には見学に起こしていただいております。		自己評価に留まらず、第三者視点から当施設の長所、短所を把握しサービスの質を高められる様に努力してまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時には職員研修を実施しており、外部研修へは各職員にて参加を行ってまっています。		内部研修を随時行いながら、各職員がより成長できる事業所となるように努力してまいります。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	連絡ファイルでの情報のやり取りや、指導前後の連携、随時の連絡などでやり取りを行い、児童の状態の把握を行っています。	はい100% 事前に説明をしてもらっているので、納得のうえ、サインをしています。	今後もこのご家庭に寄り添えるように、連絡体制を工夫し、お困りのことを相談いただける関係性の構築に努め、計画作成を行います。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	基本的に個別活動が主であり、集団活動はあまり行っておりません。指導前後で関わる時間がある児童もおり、必要性や、当事業所で出来る範囲を考慮し計画作成を行っています。	はい87.5%、わからない12.5% 利用して時間が短いので実感がないです。	今後も必要性や児童の状況に応じて、保護者様と相談しながらサービス提供を行って参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員間での情報共有だけでなく、支援会議や保護者様との連携を通じ、具体的な支援について検討をしながら支援内容を設定しています。	はい100%	保護者様や相談支援員の皆様との連携強化し、支援についての意見の聞き取りを進めながらよりよい支援を目指します。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達責任者の意見だけでなく指導員全体として計画作成を行い、指導の際は目標を職員全体で共有して行うように努めています。	はい100%	今後もマンツーマンでの対応を行い、職員全体で児童の様子を把握、共有し色々な意見を出し合いながら寄り添い支援を目指します。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	マンツーマンでの対応ではありますが、職員同士意見交換を随時行うことで指導のプログラムを考えています。		職員の数だけ意見やアイデアが出ることを忘れず、日々職員同士でコミュニケーションを図り、チームワークを高めて参ります。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	日にちだけでなく、お子様の状況や保護者様の要望に合わせて支援を考えております。		児童や保護者様のニーズを把握しながら対応を考えて参ります。こまめに連絡をさせていただくことで、保護者様との信頼構築と情報伝達につとめて参ります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	指導の内容を工夫し、余暇時間や集中する時間でメリハリを持てるように指導を行っております。	はい75%、どちらともいえない12.5% わからない12.5%	児童や保護者様の意見を聞きながらプログラムの構成を行い、また、その日の状況に合わせた活動を今後も実施していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	始業時にその日の業務分担を実施しています。支援だけでなく、その他の業務に関しても連携を図りながら実施を行っております。		今後も職員同士で共有し、支援のずれの防止や改善、向上に活かして参ります。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日の終礼時に全職員にて確認、共有を行っております。		対応は継続しながら、更に改善が出来る様に努めてまいります。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回利用時に指導報告書の作成と個人ごとの保存を徹底しております。また、責任者への報告用としても指導報告書を利用しています。		今後も正確な記録を残し、問題発生時の検証、改善のために活用いたします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとに見直しを行い、保護者様のご意見や相談支援様の意見も参考にしながら作成しております。	今後も貴重なモニタリングのお時間を大切に、子供たちにとって最適な個別支援計画書を作成してまいります。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には出席できておりません。児童様ごとにモニタリングを行っているほか、書面や面談などで状況をお伝えしております。	今後は障害児支援事業所との関係を深めさらに情報共有を活発に行えるよう努めて参ります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在療育的ケアが必要なご利用者様や重度心身障害のご利用者様はいらっしゃいません。	今後医療的ケアが必要なご利用者様や、重症心身障害をお持ちの方がご利用される際、関係機関と連携し適切な支援を行えるよう配慮してまいります。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在療育的ケアが必要なご利用者様や重度心身障害のご利用者様はいらっしゃいません。	今後医療的ケアが必要なご利用者様や、重症心身障害をお持ちの方がご利用される際、関係機関と連携し適切な支援を行えるよう配慮してまいります。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在小学校での情報共有はできておりません。	各機関との関係を築き、情報共有を行えるように努めてまいります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	障害福祉サービスとの連携はしておりません。現在支援の移行が想定される児童様をお預かりしていないためです。	今後の進路支援を考慮し、他の障害福祉サービス事業所とも連携がとれるように活動を行って参ります。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	会社全体としての研修は現在行うことができておりません。	サービス向上のため、研修の受講を検討いたします。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他の事業所の方と交流する活動は行っておりません。	今後どのような取り組みをさせていただければいいのかを検討してまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の方と交流する活動は行っておりません。		今後どのような取り組みをさせていただければいいのかを検討してまいります。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	大まかな支援方針や、利用者負担等をご契約時にご説明しております。	はい100% ・毎回説明してもらっています。	今後もご契約のご説明を実施するとともに、適宜支援内容を丁寧にお伝えしてまいります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書をもとに親御様に説明をさせていただき、ご納得を得られた上でサインをしていただいております。	はい100% ・用紙をいただいて、説明してもらっています。	今後ともご家庭に添えるようにきちんとお時間をいただき、ご説明が行えるよう改善してまいります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在具体的にプログラムを組んでのペアレント・トレーニングはできておりません。	いいえ37.5%、わからない62.5% ・実感がありません。	保護者様向けの支援プログラムの確立には至っておりませんので今後検討していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	現在、指導後に保護者様の相談を受けたり、様々なお話をさせていただいています。また、適宜お電話や面談をさせていただいております。	・いつもその日の様子ややったことを細かく教えていただいているので、助かっています。はい100%	今後も保護者の皆様と信頼関係を築きながら、お子様のご様子や変化等を丁寧にお伝えしていけるよう努めて参ります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的に「面談」という形でご相談を受ける時間は中々設けられておりません。指導後に保護者様の相談を受けたり、様々な話をさせていただいております。	はい75%、どちらともいえない12.5% わからない12.5%	今後は定期的な面談も検討していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在保護者会などの開催は行っておりません。	どちらともいえない25%、いいえ25% わからない50%	保護者会やその他保護者の皆様へ向けた会などはご要望があれば検討してまいります。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に関しては窓口を設置し、職員間で共有して迅速に対応できるように努めております。また、日頃から指導後やお電話等でご意見はいただいております。	はい62.5%、どちらともいえない25%、 わからない37.5%	今後も苦情がないように徹底してまいります。もしもの際は契約時にお渡ししております重要事項説明書に窓口を掲載しておりますので、そちらまでお問い合わせ
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用時には指導報告書に利用時の様子を記入し、誤解が生まれないように気を付けております。	はい100% ・何かあればいつも電話をいただいております。	指導報告書では伝わらない内容や、お子様に変化が見られた際にはお電話等で直接保護者様にお伝えしたり、今後も情報伝達が滞らないよう徹底してまいり

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等の発行は行っていません。	いいえ25.6%、わからない75%	今後は定期的なお便りの配布やホームページの周知など、より親しみやすい施設になるよう改善して参ります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報を持ち帰らないことを徹底し、お名前等個人情報が記載されている不必要な書類は必ず会社内で破棄するなど対策をしています。	はい100%	今後も個人情報が外部に漏れないよう最大限配慮するとともに、現在行っている対策を徹底して実行して参ります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	個別指導計画書に災害時や非常時の避難場所を記載し、保護者様に配布しています。	はい100%	今一度災害時の対応について保護者様に周知を徹底します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害時の避難訓練の連絡体制については、職員のみでの共有にとどまっています。	はい62.5%、わからない37.5%	災害発生時の対応などについて、職員などの役割を確認し、防災体制を確認するとともに、子どもたちを含めた避難訓練の実施を行っていくよう改善しています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	現時点では、外部研修には参加できていない状況です。		職員一人一人が虐待に対する正しい知識と対処法を身につけることが必要と考えております。そのためにも、外部研修への参加を検討しています。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	自傷・他害行為により、命の危険があるとか、他人を傷つけてしまう恐れがあると判断した場合は、身体拘束を行う場合があります。原則として、自傷・他害行為をしない利用者のみ受け入れています。		自傷・他害行為のある子どもへの支援の仕方や関わり方についての知識を深めるとともに、身体拘束を行う場合は保護者様への説明を必ずする等、徹底して参ります。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	基本的には自分で持参する飲み物や食べ物を摂取するようにしています。		こども動詞の食べ物や飲み物のやり取りが起こらないためにも、職員が注意して観察するよう徹底して参ります。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	現在、ヒヤリハット事例集を作成できていません。職員同士での口頭での注意喚起にとどまっています。		現在ヒヤリハット事例集の作成中です。でき次第、施設内で共有を徹底します。

